

岩井 大 ファンクラブ機関紙(年4回発行)
 発行者: 岩井 淑
 住所: 〒262-0032
 千葉県花見川区幕張町4-2 LM3-104
 連絡先: Tel:043-272-0825 Fax:043-272-0825
 URL: http://kuchan.ec-net.jp/index.htm
 Mail: iwai-8man8@marble.ocn.ne.jp

ファイト

No.37

通算戦績:30戦23勝(7KO)6敗1分

7月22日
 Dynamic Young Fight Boxing

4ラウンド KO負け

7月22日、大は後樂園ホールでのセミファイナルのリングに7ヵ月ぶりに登場した。昨年12月20日の試合以来7ヵ月遠ざかっていたため日本フェザー級ランキングは4位から8位に後退した。

今回の対戦相手は日本スーパーバンタム級5位のワタナベジムの渡部大介選手。アマチュア出身の選手でアマ戦績は54戦40勝(17KO)14敗、プロ戦績は13戦8勝(5KO)4敗1分という右オーソドックススタイルだった。

試合展開

前半の1ラウンドから3ラウンドまでは、大の左ジャブ、右ストレート、左ボディが度々当たるのだが渡部選手は前進を止めない。逆に渡部選手の右ストレート、右アッパーで大の身体が浮いてしまう場面が出ていた。手数も渡部選手のほうが多かった。

渡部選手の体幹は素晴らしく、それに比べて大の身体が小さく見えた。私の採点では3ラウンドまで全て渡部選手が取っていた。このままでは負けると感じていた4ラウンドに渡部選手の右ストレートが大の顔面を直撃し、大は背中からキャンパスに落ちていった。こんな大の姿を見るのは13年の選手生活で初めてのことであった。大は直ぐに立ち上がったが、加藤トレーナーがタオルを投げ込んで試合は終わった。

試合前に大からトレーニングもスパーリングも調子いいと聞いていたし、試合当日も加藤トレーナーからは、大は調子いいですよ、と聞いていたので、私自身本当にビックリした。ま、これも生身の人間のやることだから戦ってみなければ分からないということなのだろうと思った。

試合翌日(7月23日)

大は、右目の網膜剥離手術を受けた六本木の深作眼科医院に診察に行きました。結果は右目には異常ないとのことでしたが、左目の白内障が進んでおりモヤがかかっている状態です。

試合2日後(7月24日)

大は、三迫ジムに試合後の挨拶に行き、三迫会長と久保マネージャーと話しました。「試合に負けたので、お父さんとお母さんは何と言っていますか?」と聞かれたので、「父と母は僕の決断を押しつづすようなことはしないので、どのような決断でも応援してくれると思います。僕はボクシングに対しての熱はまだあるし、ここで終わりはやっぱ考えられないです」と答えたら、久保マネージャーが、「あんたここで辞めるんじやあないわよ。絶対タイトルマッチをもう1回組んでチャンスを持ってくるから辞めるんじやないわよ」って語尾を強めて言ってくれたので、即答で、「ありがとうございます」って答えたとのこと。大は嬉しかったと報告してきました。

大のコメント

昨日の試合は4ラウンドKO負けでした。1ラウンドに受けたパンチで2ラウンドから左目が真っ白になりました。なんとか頑張りましたが不甲斐ない結果です。ボクシングに対する熱と想いはまだまだありますので、これからよろしくお願ひします。



4ラウンド、1分07秒、大は派手にキャンパスに転がった



応援



【声援1】I・Kさん

残念だったね。でも、強くなれば強くなるほど相手も強くなる。大くんも、やはり強いから相手も必死なんだよね。大くんなら、また、今回の負けを乗り越えていくよ。頑張れー。

【声援2】T・Tさん

残念。今までにない試合内容に本人が一番驚いているだろうね。大くんお疲れ様でした。

【声援3】U・Kさん

試合、残念でした。序盤からいつもよりパンチをもらってるなという印象があったのですが、目が見えにくかったんですね。悔しい結果で今井さん、吉原さんと残念会をしました。大ちゃんも少し時間が必要だと思いますが、少しゆっくり休んでほしいです。

【声援4】I・Eさん

残念でしたね。試合を見ていて、今まで以上に顔面にパンチをもらっていることが多かったの、回りの人と今日は何かおかしいね、と話していました。大ちゃんの調子が良い時の試合が見たいです。無理しないで身体を大事にしてくれることを祈ります。次回も応援に行きますね。

【声援5】O・Kさん

試合残念でしたね。厄介な目の故障を十分に治療して復活されることを切に祈念します。リングに上がっていつものジャンプが少し低いかなと不安に思いましたが、いつものような動きもなく心配していましたが本当に残念です。心身ともに癒して元気な姿に戻ることを願ひします。

おやじのひとこと

人生には気持ちの充実した上り坂もあれば、気分が滅入ってしまう下り坂もある。あるいはほとんど停滞しているときも度々ある。人生は山あり谷ありだからね。重要なのは、いずれの状況のときも自分を見失わずに自分の立ち位置をしっかりと確認しておくことだ。

今回の試合前にもタイトルマッチの話が浮上して消えていった。このようなことが過去にも何回もあったが、人間は感情を持っているので常に平常心でいるのは難しいことだ。身に降りかかる事態の一つひとつ乗り越えていくことによって、人間としての懐の深さが出来てくるように思う。淡々と目の前の課題を解決していくことの日常が結果として人生を形づくっていくのだと思う。今回の試合はモチベーションの差が結果に出たのではなからうかと思う。